

河北省 省都 — 「石家荘」

石家荘市は中国河北省の省都です。北京から南に280キロの場所に位置しており、高速鉄道では一時間半、普通列車では三時間ほどで着くことができます。

人口約1200万人、総面積15848平方メートルの首都にもっとも近い省都です。中国の地方区分のひとつである華北地区に位置し、交通機関が発達した都市でもあります。全国の鉄道、高速道路、航空路とつながっているため華北地区最大の交通の要衝となっているだけでなく商業・貿易、物流の中心地ともなっています。

特産品には棗（ナツメ）や梨があり、「牛肉罩火烧（niu rou zhao huo shao）」というイスラム風の料理も有名なようです。

石家荘の交通：



石家荘市には石家荘駅、石家荘北駅、石家荘南駅の三つの駅があり、正定県には空港もあります。また、高速道路も複数つながっており、中国全土とつながっています。

街中には多くの車が往来しており、その間を縫うように人と自転車が移動しています。現在、市内では2012年から地下鉄の建設が進んでおり、2020年までに建設をする計画です。地下鉄はまだほとんどできておらず、建設の工事により引き起こされている渋滞が深刻となっています。

- ① ショッピングモールのある大通り、多くの人が行き交っています。
- ② 地下鉄の建設現場の様子。
- ③ 石家荘駅、北京から来る場合にはたいていこの駅に降ります。
- ④ 地下鉄工事によって引き起こされている渋滞。バスや自動車が長蛇の列を作っています。

石家荘の歴史：

旧称：石門市と呼ばれており、正定市には唐代に臨済義玄が臨済宗を開いた臨済寺があります。この周辺には多くの寺が密集しているらしく、中国国内の最高ランクをとる隆興寺という寺もあります。また、趙雲を祀る寺もあり、正定市が以前栄えていた地域だった事がうかがえます。

趙県には「安濟橋」と呼ばれる石橋があります。隋代に建築され、1400年ほど経過した現在でもその姿がそのまま残されています。中国の国家重要保護文化財に指定されています。



- ① 隆興寺の西側に位置し、奥に見える「木塔」が有名です。
- ② 隆興寺に行くまでの道のり。観光地にするために整備をしている真っ最中のようにです。
- ③ 隆興寺の入り口、左側の建物はまだ改修中でした。
- ④ 隆興寺内部、中国十大名寺のひとつである威厳が感じられます。

石家荘の街並み：



- ① 国家博物館の前を通る地下街には若者の集う地下街が有ります。
- ② 河北省博物館；河北省各地で出土された歴史的な物が収容されており、国家博物館にも劣らない見栄えです。
- ③ 都会然とした街並みの中にも住民の憩いの場として使われる健康器具があります。
- ④ 大きな通りから外れると昔からある古い建物が顔を出します。
- ⑤ 24時間営業のコンビニエンスストアもあります。
- ⑥ 旧石家荘駅、町の中心地に位置していますが、現在は使われておらず建物内に入ることはできませんでした。